

日本商品化権大賞2018の表彰式を開催

当協会は、日本商品化権大賞2018の表彰式を2019年1月29日に東京プリンスホテルで開催しました。

表彰内容は次の通りです。また本年のプレゼンターは、前年グローバル部門を受賞された「パワーレンジャー」よりレッドレンジャー、「Pokémon」よりサトシくんが、特別栄誉賞は高木理事長が務められました。



■ 日本商品化権大賞2018国内部門

「HUGっと!プリキュア」

受賞団体 東映アニメーション株式会社

受賞理由 プリキュアシリーズ15周年を記念し、TVアニメ「HUGっと!プリキュア」では第36話「フレフレ!伝説のプリキュア大集合!!」・第37話「未来へ!プリキュア・オール・フォー・ユー!」において、TVシリーズとして初のオールスター話数を放映。玩具「HUGっと!プリキュア おしごといろいろ!プリキュアミライパッド&メモリアルキュアクロックセット」は日本トイザらスを選ぶ2018年クリスマスおすすめトイTOP20に選出されました。また、「歴代プリキュア55人が登場」をキーワードに「映画HUGっと!プリキュア♡ふたりはプリキュア オールスターズメモリーズ」を劇場公開し、「アニメ映画に登場する最も多いマジカル戦士の数」でギネス世界記録の認定をされました。興行もシリーズ歴代最高のスタートを切り興行収入は11億円を超え、子供とその保護者はもちろん、子供の頃にプリキュアを観て育った女性やその他多くのファン獲得に成功。横浜で催された歴代プリキュア55人によるパレードでは約1万人を動員するなど、新たな市場の創出とキャラクタービジネスの発展に貢献されました。

「銀魂」

受賞団体 銀魂製作委員会/映画「銀魂2」製作委員会

受賞理由 2018年夏、漫画『銀魂』（単行本累計発行5,500万部以上）の「週刊少年ジャンプ」での週刊連載終了に合わせて、テレビアニメ『銀魂 銀ノ魂篇』を放映、実写映画『銀魂2 掟は破るためにこそある』を劇場公開し話題に。実写映画・アニメを使用した「ファミリーマート」「丸井グループ」「東映太秦映画村」とのコラボレーションの他、同時期にアニメでは「明星 一平

ちゃん夜店の焼そば」、スマートフォン向けゲーム「THE KING OF FIGHTERS ALLSTAR」、「からくさスプリングホテル（関西エリア）」などとのコラボ展開を行い、漫画、アニメ、実写映画が連動した施策を実施。『銀魂』ファンはもちろんミレニアル世代のファンを獲得し、実写映画は2年連続興行収入36億円超、2年連続実写邦画ベスト3入りと新たなマーケットの創出に成功され、キャラクタービジネスの発展に貢献されました。

「ドラえもん」

受賞団体 株式会社藤子・F・不二雄プロ

受賞理由 親と子を対象とした劇場公開前タイアップキャンペーンを浅田飴、朝日新聞社、東日本旅客鉄道、小田急電鉄等と実施。大人だけの先行試写会の開催。映画主題歌を最も話題な男性アーティスト星野源とのタイアップ。「映画 ドラえもん のび太の宝島」の公開等を実施され、親と子、ドラえもんて育った大人も巻き込んだ市場の拡大に成功され、劇場版の主題歌はオリコンウィークリー1位。劇場版の興収は3年連続新シリーズ最高の53億円超えを達成。

日本を代表するアーティスト28組が「あなたのドラえもんをつくってください」をコンセプトとした作品を展示する「THE ドラえもん展」を東京・高岡・名古屋で開催。現代アートの巨匠村上隆氏・ユニクロとのコラボレーション「ドラえもんUT」の発売。「THE ドラえもん展」は3会場で29万人超の動員、新たな大人の市場を創出され、キャラクタービジネスの発展に貢献されました。

「劇場版『名探偵コナン ゼロの執行人』」

受賞団体 名探偵コナン製作委員会

受賞理由 私立探偵、公安警察、黒ずくめの組織の3つの顔を

賞構成

日本商品化権大賞2018

- 国内部門** 国内でキャラクターの顧客吸引力を上げた施策を実行された団体、個人を表彰します。
- グローバル部門** 海外で日本発のキャラクターの顧客吸引力を上げた施策を実行された団体、個人を表彰します。
- 審査員特別賞** 最終審査員が特に推薦するキャラクターの顧客吸引力を上げた施策を実行された団体、個人を表彰します。
- 特別栄誉賞** 複数年に渡り優れた施策を実行された団体、個人を表彰します。

主 催

一般社団法人日本商品化権協会

後 援

経済産業省

顕彰委員会（一次審査）

（五十音順、敬称略、役職等は1月末現在）

委員長	高木 勝裕	東映アニメーション株式会社 代表取締役社長
副委員長	大芝 賢二	株式会社アサツーディ・ケイ 執行役員
委員	今井 陽介	株式会社電通 コンテンツビジネス・デザイン・センター アニメ&キャラクター1部長
委員	大堀 真由	株式会社バンダイ メディア部 DGM
委員	斉木 裕明	株式会社テレビ東京 アニメ局 局次長
委員	杉浦 美恵	東映株式会社 テレビ商品化権営業部 部長
委員	藤波 信義	株式会社ビジネスガイド社 事業部 部長
委員	吉田 昌平	株式会社講談社 ライツ・メディアビジネス局 局次長

審査方法

キャラクター毎に対象期間に実施した施策をまとめ、国内部門676作品、グローバル部門33作品をリスト化しました。その後当協会の顕彰委員会にて一次審査を行い、有識者で構成する最終審査会で受賞作品を決定しました。

最終審査会

（五十音順、敬称略、役職等は1月末現在）

審査委員長	亀井 昭宏	早稲田大学 名誉教授
審査委員	中村伊知哉	慶應義塾大学大学院 教授
審査委員	濱田 逸郎	江戸川大学 名誉教授
オブザーブ	高木 勝裕	顕彰委員会 委員長
オブザーブ	大芝 賢二	顕彰委員会 副委員長
オブザーブ	今井 陽介	顕彰委員会 委員
オブザーブ	田口 和隆	顕彰委員会 委員代理
オブザーブ	斉木 裕明	顕彰委員会 委員
オブザーブ	杉浦 美恵	顕彰委員会 委員
オブザーブ	藤波 信義	顕彰委員会 委員
オブザーブ	吉田 昌平	顕彰委員会 委員

《受賞者のコメント》

※受賞者のお役職及びコメント内のデータ等は1月末日現在のものです。

■ 東映アニメーション株式会社 第一映像企画部 プロデューサー 内藤圭祐様



東映アニメーションの内藤と申します。『HUGっと!プリキュア』のプロデューサーを務めさせていただきました。この度は、日本商品化権大賞2018国内部門に『HUGっと!プリキュア』を選出いただきまして、誠にありがとうございます。

『HUGっと!プリキュア』は「無限の可能性を秘めた未来」というテーマのもとに、

お仕事や子育てといった要素を取り入れたプリキュアでございました。丁度一昨日(1月27日)に最終回の放送を終え、新シリーズの『スター☆トゥインクルプリキュア』に無事、バトンを渡すことができ、大変安堵したところでございます。番組が走っている間は、なかなかこうして振り返る機会もございませんでしたので、しっかりお子様方に届けられていたんだということを改めて実感することができ、大変嬉しく思います。

2018年はプリキュアのシリーズ15周年目の年でもありました。長く続い

てきたシリーズではございますが、キャラクターやストーリー、商品化等の様々な面において、毎年毎年、その時々の子供たちが、何に憧れていて、どうしたら夢中になってもらえるかということをシリーズごとに試行錯誤を繰り返しており、それが脈々と続いてきた上での『HUGっと!プリキュア』だったと感じております。実際に、先ほどご紹介いただきました、映画やプロモーション、商品展開、イベント等、周年ならではの試みもたくさんございました。

それらは我々、番組製作サイドだけではおそらく成し得なかった、社内外含めた関係者の皆様による総合力によって達成できた盛り上がりだったと思っております。従って、私がこうして壇上に上がっているのも甚だ僥倖ではございますが、『HUGっと!プリキュア』チームを代表して、『HUGっと!プリキュア』が受賞できたことに素直に感謝申し上げさせていただきますとともに、プリキュアシリーズが、これから先もしっかり子供たちを夢中にさせ続けられるよう、プリキュアチームとして、より強固な連携をもって歩んでいけたらと思っております。本日は誠にありがとうございました。

■ 株式会社バンダイナムコピクチャーズ 事業部部長 樋口弘光様



バンダイナムコピクチャーズの樋口と申します。アニメ『銀魂』では、プロデューサーを担当させていただいております。本日は、このような賞をいただき誠にありがとうございます。弊社は映像制作を主として、商品化やイベントなどのプロデュースをさせていただいており、製作委員会を代表して本日私がこの場に立たせていただいております。

受賞に際して改めて思いますことは、「継続は力なり」と申しますが、原

作の漫画が『週刊少年ジャンプ』の連載を14年続けてこれ、それを追う形でアニメも13年間放送を続けて参りました。その原作やアニメの継続があり、2017年と2018年の実写映画化に結びつけることができました。その実写映画化に合わせるように原作とアニメうまく連動させることができ、商品の露出やタイアップを活発に実施することができました。改めて関係者の皆様には厚く感謝申し上げます。

そうした中で原作は週刊連載を終え、今は「ジャンプGIGA」という増刊号で連載が行われております(現在は連載を終了)。アニメ『銀魂』も放送自体はお休みをしているところですが、3月に5万人を超えるイベントを予